

広島大学短期交換留学(HUSA)プログラム/ HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program
協定大学実施ショートプログラム参加報告書/Short Program Report

留学先大学 / Host University	オレンブルグ国立大学(国名/Country : ロシア)
プログラム名称 / Name of Program	OSU summer school program
プログラム期間 / Period of Program	From:2018年9月10日(YYYY/MM/DD) To:2018年9月16日(YY/MM/DD)

1. 渡航について / Flight Information

出国年月日 / Date of Departure	2018年9月7日(YYYY/MM/DD)
経路 / Route	広島→東京→上海→モスクワ→オレンブルグ
現地での出迎え / Pick-up at Destination	<input checked="" type="checkbox"/> 有/Yes (大学関係者/University Staff・その他/Other) <input type="checkbox"/> 無/No
帰国年月日 / Date of Return	2018年9月18日(YYYY/MM/DD)
経路 / Route	オレンブルグ→モスクワ→上海→東京→広島

2. 所要経費について / Expenses

所 要 経 費 / E x p e n s e s	総額 / Total Amount		約20万	円 / yen
	内 訳 / D e t a i l s	渡航費(往復) / Flight Ticket (Round Trip)	16万	円 / yen
		保険料 / Travel Insurance	約6000	円 / yen
		宿泊費(住居費) / Accommodation Fee	0	円 / yen
		食費 / Meal Cost	1.1万	円 / yen
		その他費用(現地交通費(バス)) / Others ()	約1000	円 / yen
その他費用(お土産代) / Others ()	2万	円 / yen		

3. プログラム参加を通じて得た成果等 / Feedback through Your Participation in the Program

私がこのプログラムに参加した理由は2つあり、まず一つ目は1年次のベーシックロシア語で得た知識を活かし、自分のロシア語がどれだけ通じるかに挑戦したかったため、また現地の生活にも強く興味があったためである。2つ目は自分の英語力が今どれほど通用するのかを客観的に知り、自分にとって何が足りないのかを理解し、今後の英語学習のモチベーションを作りたいと思ったからである。

プログラムの内容としては、ロシア語、産業、地理学、民俗学(歴史館見学)、物理学などがあり、文系の自分は理系の内容に不安があった。しかし、どの授業も分かりやすい英語で解説してもらえたため、楽しんで講義を受けることが出来たし、理系分野がとても新鮮だった。現地の先生や学生のうちほとんどが英語を使えるため、コミュニケーションもスムーズにできた。(授業は基本英語、ロシア語の授業は基本ロシア語だったが、ジェスチャーも交えてなのでなんとかなる。)

現地での生活面については、毎日学生寮からバスで約10~15分かけて大学に通う。寮の広さは十分にありますが、トイレトーパー、テレビ、ゴミ袋、ドライヤー、室内履き、洗面用品は一切無いので注意。また冷蔵庫、共同洗濯機はある。その他足りない生活雑貨は寮から徒歩10分の所にある、コストコに似たスーパーで調達できた。現地の物価は日本よりはるかに安く、1.5リットルの水が約40円で買える程であった。店での支払いについては、スーパーのほとんどはクレジットカードが使える。しかし、バスの運賃、レストラン、カフェ、小さな店は現金支払いのみなので、注意。ロシアの通信事情についても触れておきたい。まず、wi-fiは学校の図書館内でしか通っていない。寮では通っていないので、日本から持参したポケットwi-fiだけが頼り。また、LINEは基本使えないが(ロシアでの規制があるため)、日本で前もってVPNという特殊なアプリをダウンロードしそれを起動すれば、LINEは使える。現地学生の使うSNSはInstagramが主流。友達が出来たらまず「インスタ使ってる?」と聞かれるので、アカウントを持っていた方が便利。ロシア留学で重要なのは、やはり準備力だと思う。情報が分かり次第すぐにフライトを調べて、ビザを発行し(1万円前後かかる。代行のロシアビザセンターがおすすめ)、余裕を持って書類を揃えることが大事。今回の留学を経て、準備力、英語・日本語問わず、相手の話に耳を傾けるというコミュニケーションの基本、自ら行動を起こすことの大切さに改めて気付いた。

注(Remark) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HPへの掲載、事務室での閲覧や、大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。/This report and its contents will be uploaded on the HUSA home page, browsed at the administration office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University to provide information to students who desire to study abroad.

書類提出先(Word形式、メールにて送付) / Where to submit (as Word format, by E-mail) :
 広島大学国際交流グループ(留学交流担当) / International Exchange Group : kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp

**広島大学短期交換留学(HUSA)プログラム/HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program
協定大学実施ショートプログラム参加報告書/Short Program Report**

留学先大学 / Host University	オレンブルグ国立大学 (国名/Country : ロシア)
プログラム名称 / Name of Program	HUSA 短期交換留学プログラム
プログラム期間 / Period of Program	From: 2018 年 9 月 9 日 ~ To:2018 年 9 月 16 日

1. 渡航について / Flight Information

出国年月日 / Date of Departure	2018 年 9 月 8 日 (YYYY/MM/DD)
経路 / Route	広島→羽田→北京→モスクワ→オレンブルグ
現地での出迎え / Pick-up at Destination	<input checked="" type="checkbox"/> 有/Yes (大学関係者/University Staff・その他/Other) <input type="checkbox"/> 無/No
帰国年月日 / Date of Return	2018 年 9 月 17 日 (YYYY/MM/DD)
経路 / Route	オレンブルグ→モスクワ→北京→羽田→広島

2. 所要経費について / Expenses

所要経費 / Expenses	総額 / Total Amount		137,600	円 / yen	
	内訳 / Details	渡航費 (往復) / Flight Ticket (Round Trip)		110,000	円 / yen
		保険料 / Travel Insurance		6,000	円 / yen
		宿泊費 (住居費) / Accommodation Fee		0	円 / yen
		食費 / Meal Cost		10,000	円 / yen
		その他費用(大阪までの交通費)		4,600	円 / yen
		その他費用(お土産費)		7,000	円 / yen

3. プログラム参加を通じて得た成果等 / Feedback through Your Participation in the Program

このプログラムは広島大学のプログラムではあるものの、航空券の取得から VISA 発行、現地での生活も国際交流グループに頼ることなく行う必要があります。今まで多くのことを頼ってきた分、全てを自分でやってみて学べた点は多くありました。ここでは、自分が困惑したことも含めて、渡航前からプログラムを終えるまでについて詳しく記していこうと思います。

まず、VISA 発行についてですが、広島から一番近くだと大阪のロシア領事館で発行できます。私は長期休暇ということ利用し、青春 18 切符で日帰り VISA 申請並びに受け取りに行きました。したがって、往復 2 日分合計でも 4700 円程度とコストを抑えることができました。個人的にパスポートを委託すると郵送で無くされる可能性もあるので、個人で足を運ぶことをお勧めします。なお、VISA 申請から受け取りまでは 1 週間程度です。ロシア領事館は空いている時間がかなり限られておりますので、持ち物から利用可能時間まで事前にチェックを済ませて行くことが必要です。

次に、航空券についてですが、こまめにチェックすると値段が大きく変化しているのに気づくことができます。私の場合、6 月末にチェックしたところ Air China で約 10 万円していたものが、7 月中旬には 7 万円程度となっていたので、その場ですぐ買いました。羽田→北京→モスクワの便は Air China で行き、モスクワ→オレンブルグはアエロフロートというロシアのフルサービスキャリアの航空会社で行きました。モスクワ→オレンブルグの便は行く学生全員で揃える必要があるので選択は難しいかもしれませんが、アエロフロートは比較的値段が高いので違う航空会社を利用することをお勧めします。

オレンブルグでのプログラムが開始してからについてですが、まず、宿泊先は大学の寮で愛媛大学の生徒と合計 5 人でシェアルームをしました。部屋はそれぞれ 1 人、2 人、3 人部屋があり、キッチンと風呂とトイレは共有でした。クローゼットにハンガーが無いので、ハンガーは各自お持ちいただくこととなります。また、トイレはティッシュを流してはいけないこと、そして風呂の排水が悪いことだけが少し困難なことで、後は過ごすにはとても快適でした。なお、門限が 22 時なので行動はかなり制限されます。22 時以降は部屋にいたことが鉄則でした。



次に、現地での費用についてですが、まず朝昼の学食で 1 日 500 ルーブル (1000 円ほど) 払います。また、

バスは一律 22 ルーブル (44 円ほど) ととても安いです。その他にも食べ物も多く食べても 350 ルーブル (700 円ほど)、飲み物も大きなペットボトルの水は 30 ルーブル (60 円ほど) コーラは 40 ルーブル (80 円ほど) ととても安かったです。私は 12000 ルーブルしか変えていませんが、全く苦勞することなく過ごせました。ちなみに、オレンブルグで買うマトリョーシカはとても安く、10 個買って 5000 円ほどでした。さて、プログラムはオープニングセレモニーから始まります。副学長から挨拶やお土産をいただくのですが、その際広島大学としてお土産をお渡しすると良かったなと思います。この度は、愛媛大学さんがお持ちいただいたお土産を皆さんからということにさせていただきました。

そして、様々なジャンルの講義がありますが、ロシア語の講義については初めから全部ロシア語で行われます。内容は決して難しいものではありませんが、もっと勉強していくと良かったなと思います。講義は地理学や物理学などもありますが、文系の僕でも理解できる程度でしたので文理構わず応募していただいて大丈夫だと思います。英語レベルとしてもゆっくりと簡単な英語で話してくれますので、中級レベルでもついていけると感じました。

現地で行うプレゼンテーションに関しまして、留学に行く前から計画的に進めていく必要があります。参加者一人一人が積極的に参加しないと、良いプレゼンテーションは成り立ちませんので、皆さんで協力して行ってください。ちなみに、私たちは広島大学の紹介に加え折り鶴の体験をしました。愛媛大学は書道を行っていました。準備・片づけは大変なものの、ロシアの方々は皆さん楽しんでくれていたと思います。また、プログラム内の「world cuisine」については、材料のみ持って行って現地の日本語の先生と担当の先生が私たちが講義を受けている間に作ってくれます。その日本の料理と他の留学生の料理を楽しむ企画になっていました。現地のテレビ局の方も来ており、英語で料理を紹介する映像は現地のローカルニュースに流れていたそうです。

他にも、文化交流として色々な企画を用意してくださっています。まず、National village ですが、ここはそれぞれの民族の村に入り、説明を聞くというものでした。また、最後には村内のアルメニア料理を食べ、非常に美味しい食事になりました。次に、Memorial Complex です。こちらは外に置かれている戦士を讃える石碑で、目の前には永遠の炎が燃えています。平和記念公園の炎と関連付けて深い文化交流ができる場でした。Salt Lake については、サングラスがあれば良かったなと思いました。また、個人的に泳ぎたかったのですが、塩分が強すぎるために体が真っ白になるため泳がせてもらえませんでした。※その代わり小さな川で泳がせてくれました。それぞれの場所が、ロシアならではの「多様性」を感じる事ができるものでした。

金曜日には Closing Ceremony があり、一人一人副学長の前で一言又はスピーチをしました。前日の夜などに何を言うか決めておくといいと思います。

最後には学生主催の Farewell Party が用意されています。学生がそれぞれ出し物をしてくれるので、特技がある人は物を持って行っておくと楽しくなると思います。私たちは物を持って行っていなかったので、アドリブで「ソーラン節」を踊ったところとても受けが良かったです。

また、日本からのお土産はこの時に渡すのがほとんどだと思います。多くのロシアの学生はボランティアで来てくれており、みんな本当に親切で助けになってくれます。知り合った数だけでも 20 人は越えるかなと思います。お土産は多めに持って行くことをお勧めします。しかしながら、先程申し上げた通り多くの学生はボランティアで来てくれいているため、急遽「今日が最後」ということがあります。数個のお土産は身につけておくより良いかなと思いました。

私がこの留学で一番困ったことは Wifi です。私たちが唯一使える Wifi の場所は講義室のみです。多くの学生はそれぞれポケット Wifi を持って来ていましたが、私は持ってきておりませんでしたので非常に困りました。特にプレゼンテーションの準備の際はオンライン状態だと非常に便利です。最低 500MB の大容量のものをお持ちいただくことをお勧めします。夜も SNS で現地の友達とコンタクトを取れるということは友情を深める過程において大事だと思いました。

最後に、このプログラムは文化交流に重きをおいております。私の目的は「ロシアの国像をつかむこと」と将来を見据えてのものでした。ロシア語を集中的に行いたい人は少し不満に思うところがあるかもしれませんが、反対に、私のようにロシアという国について理解を深め、ステレオタイプをなくしたいという人には丁度良いプログラムだと思います。もし、オレンブルグ大学への渡航が決まった場合、現地ではたくさんロシアの人と交流してください。ロシアの文化に触れつつ、日本の文化も伝え、お互いがお互いを理解していく。そして、1週間とはいうものの国境や文化を越え生まれる友情は本当にかげがえのないものになります。素晴らしい出会いとの別れは非常に辛いですが、そこからどのように関係を継続していくか、これがこれからの日本とロシアの関係継続の鍵になってくると思います。頑張ってください！



注(Remark) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HPへの掲載、事務室での閲覧や、大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。/This report and its contents will be uploaded on the HUSA home page, browsed at the administration office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad.

書類提出先(Word形式、メールにて送付) / Where to submit (as Word format, by E-mail) :
広島大学国際交流グループ (留学交流担当) / International Exchange Group : kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学短期交換留学(HUSA)プログラム/ HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program
協定大学実施ショートプログラム参加報告書/Short Program Report

留学先大学 / Host University	オレンブルグ国立大学 (国名/Country: ロシア)
プログラム名称 / Name of Program	III International Summer School "Modern Russian Science and Culture"
プログラム期間 / Period of Program	From: 2018年9月10日(YYYY/MM/DD) ~ To: 2018年9月16日(YY/MM/DD)

1. 渡航について / Flight Information

出国年月日 / Date of Departure	2018年9月8日(YYYY/MM/DD)
経路 / Route	羽田、北京(乗継)、モスクワ(乗継)、オレンブルグ
現地での出迎え / Pick-up at Destination	<input type="checkbox"/> 有/Yes (大学関係者/University Staff・その他/Other) <input type="checkbox"/> 無/No
帰国年月日 / Date of Return	2018年9月23日(YYYY/MM/DD)
経路 / Route	オレンブルグ、モスクワ(乗継)、サンクトペテルブルク、ヘルシンキ、フランクフルト(乗継)、北京(乗継)、関西国際

2. 所要経費について / Expenses

所 要 経 費 / Expenses	総額 / Total Amount		参考外	円 / yen	
	内 訳 / Details	渡航費(往復) / Flight Ticket (Round Trip)		参考外	円 / yen
		保険料 / Travel Insurance		16日で約9000	円 / yen
		宿泊費(住居費) / Accommodation Fee		プログラム中は0	円 / yen
		食費 / Meal Cost		プログラム中約 11000	円 / yen
		その他費用(ポケットwi-fi) / Others ()		16日で約10000	円 / yen
		その他費用() / Others ()			円 / yen

3. プログラム参加を通じて得た成果等 / Feedback through Your Participation in the Program

まず成果として、学生含め現地の人とたくさん交流することができました。本当に驚くほど手厚く私たちの世話をしてくださり、皆さんとても優しくかったです。

個人的に一番楽しかったのはロシア語の授業です。全部ロシア語で行われたので戸惑う部分も多かったのですが、たくさんのことを学びました。プログラム中は英語でのコミュニケーションが基本ではありましたが、街中で実際に使うこともでき、学んだことを実践できたことは貴重な経験となりました。そしてこれからもロシア語を勉強していきたいと思いました。

その他の講義は全て英語(通訳を介したのものもあり)で行われ、法学や地誌、工学、物理学など様々な分野のことを学びました。専門的な内容をするものもありましたが、興味を持てたので楽しめました。また、講義によっては、大学内の博物館や実験室に案内されたり、実際に使われている特別な服を着れたりするものがあり、その点も良かったです。

夕方からは大学周辺の施設や観光地へ行くことが多かったのですが、それらへの訪問も含めてこのプログラム内で感じたのは、ロシアの文化は想像以上に多様であるということです。ロシアにはカザフスタンをはじめ、トルクメニスタンやタタールなど様々な国から人が来ています。学生にもそれらの国の出身であったりルーツを持っていたりする人も大勢おり、そこからも多様性を感じることができました。

プログラム後は、サンクトペテルブルクや周辺の国に個人で旅行に行きました。ロシア国内についてですが、一部の観光スポット以外ではほとんど英語が通じないので、片言のロシア語で頑張りました。大学内とは違ってゲスト扱いではもちろんないうえに、スリが非常に多いということを聞きかなり警戒していましたが、親切な人達に助けられるなどの経験もして、ますますロシアのことを好きになりました。

プログラム中には、誤作動(多分)で夜に寮の火災報知機が鳴ったり、スケジュールがこちらに渡されていたのと少し違ったりといったハプニングはありました。しかしそんなハプニングなんて気にならなくなるほど毎日充実していました。ロシアに興味があればぜひ参加をお勧めするプログラムです。

◎翌年以降参考になりそうな情報

①あると便利、または持って行った方がよい(と私が思う)もの

- ・ハンガー：服や濡れタオルをかけるのに便利です。
- ・ドライヤー：必要な人は電圧が日本と違って使えるもので、さもないと壊れます。
- ・マスク：非常に乾燥しているのので、寝るときにあると喉を保護できます。飛行機の中でも有用です。
- ・リップクリーム：乾燥で唇がほぼ確実に荒れるので、その対策に。
- ・ポケット wi-fi：寮内ではインターネットを使う手段がこれしかありません。
- ・厚手の上着：一日の寒暖差が非常に大きいうえに、年によって最高気温が15度から30度ぐらいまで読めないのに対応できるように。
- ・消臭スプレー：匂いのエチケットに。ちなみに洗濯は寮の人に頼んでしてもらう形式です(150ルーブルかかる、1ルーブル約2円)。
- ・お土産：お菓子などちょっとしたものでいいので、たくさん持っていきましょう。また、仲良くなった人やお世話になった人には積極的にその場で渡していくのがいいと思います(出会った日以降会えない人もいます。それで私も後悔しました。)

以下は現地でも調達できるが、初日からあると便利なもの。

- ・トイレットペーパー：寮には備え付けのものがありません。また基本流さない方がいいです。
- ・コップ：寮には食器類がありません。大きいボトルの飲み物とかシェアしたいときに便利。
- ・レジ袋：ゴミ箱がなかったのので、これで代用してました。

②食事・買い物について

朝と昼は大学内の食堂で食べます。プログラムの最初の方にまとめて代金は徴収されます。今年は6日(12回)分で合計3000ルーブルでした。昨年よりかなり値上がりしていたので、今後どうなるかわかりませんが参考まで。

夕食は近くのカフェなどで食べるが多かったです。基本的に自分で食べる分を頼んでお金を払ってました。

水や軽食は、大学内の店や寮の近くの大型スーパーで買っていました。なおショッピングに限りませんが、原則学生のエスコート付であり、勝手に買い物などには行けません。

③両替について

オレンブルグに着いてからはキャッシング機能付きのカードでも持ってない限り、できないと思っておいた方がいいです(オレンブルグ空港の到着口にも両替所が見当たらなかったです)。食事代の徴収やバスの運賃(1回22ルーブル)で現金は必要なため、中継点のモスクワなどであらかじめルーブルを手に入れる必要があります。なお、スーパーやカフェでは少額でもクレジットカードが使えるので、特にプログラム後旅行を考えている人は持っているとう便利だと思います。

④ピザについて

代行業者(ロシアピザセンターなど)を使うか自分で大使館に行くかして、大学からの招待状を受け取ったらできるだけ早めに申請に取り掛かることをおすすめします。

⑤注意点など

- ・寮は禁煙・禁酒でした。また、僕たちはゲスト扱いなので門限がありました。
- ・シャワーブースの排水が非常に悪いので、手短かに済ませましょう。
- ・日本でメジャーなLINEがロシアでは政府の制限により通常使用できないので、家族への連絡手段などを考えておく必要がありました。ちなみに、学生の間でメジャーなSNSはインスタグラムでした。フェイスブックをやっている人もいました。

充実した留学生活になることを願ってます！

注(Remark) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HPへの掲載、事務室での閲覧や、大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。/This report and its contents will be uploaded on the HUSA home page, browsed at the administration office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad.

書類提出先(Word形式、メールにて送付) / Where to submit (as Word format, by E-mail) :
 広島大学国際交流グループ (留学交流担当) / International Exchange Group : kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp

**広島大学短期交換留学(HUSA)プログラム / HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program
協定大学実施ショートプログラム参加報告書/Short Program Report**

留学先大学 / Host University	オレンブルグ国立大学 (国名：ロシア連邦)
プログラム名称 / Name of Program	広島大学短期交換留学プログラム
プログラム期間 / Period of Program	From: 2018年9月9日～ To: 2018年9月16日

1. 渡航について / Flight Information

出国年月日 / Date of Departure	2018年9月8日
経路 / Route	広島→羽田→北京→モスクワ→オレンブルグ
現地での出迎え / Pick-up at Destination	<input checked="" type="checkbox"/> 有/Yes (大学関係者/University Staff) <input type="checkbox"/> 無/No
帰国年月日 / Date of Return	2018年9月17日
経路 / Route	オレンブルグ→モスクワ→北京→成田→広島

2. 所要経費について / Expenses

所要経費 / Expenses	総額 / Total Amount		216000	円 / yen	
	内訳 / Details	渡航費 (往復) / Flight Ticket (Round Trip)		200000	円 / yen
		保険料 / Travel Insurance		6000	円 / yen
		宿泊費 (住居費) / Accommodation Fee		0	円 / yen
		食費 / Meal Cost		10000	円 / yen
		その他費用() / Others ()			円 / yen
		その他費用() / Others ()			円 / yen

3. プログラム参加を通じて得た成果等 / Feedback through Your Participation in the Program

私はこのプログラムに、ロシアの科学を勉強するという目的をもって参加した。結論から言うとこの目的はほとんど達成されなかった。本プログラムはその目的を”ロシアの科学と文化を学ぶこと”と謳っているが、実際は内容の多くがロシアの文化や歴史、国際交流等を中心としており、科学を学べる機会はそれらと比べてかなり少なかった。(いわゆる科学の授業は15回行われる授業の中で3回であった)

しかしながら、それでも情報工学と物理学についての講義は刺激的であった。情報工学ではメールのフィルタリング、ソート、マシンラーニング、微分方程式についての講義があり、それらの内容を復習することができた。また、物理学では電磁場の人体への影響について、携帯電話等が生じる微弱なものと、MRI等が生じる強力なものに分けて説明があり、講義の後には研究室と実験設備を見学することができた。電磁波が微生物の成長に影響を与えることを研究している研究室であり、今までに耳にしたことのない研究分野であったため興味深かった。また、これらの内容を英語で学べたことも貴重な経験となった。

注(Remark) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HPへの掲載、事務室での閲覧や、大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。/This report and its contents will be uploaded on the HUSA home page, browsed at the administration office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad.

書類提出先(Word形式、メールにて送付) / Where to submit (as Word format, by E-mail) :
 広島大学国際交流グループ (留学交流担当) / International Exchange Group : kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp